

講料が一律2
れる。

50%超

保証金額は
4895億円

請負金額は、
4月からの累計は、請負
金額が4・1%増の3兆3

の総会

町修と人材 シラム運動 建築積算協会

算協会（吉田
13日、東京都
ルク東京で通
、17年度の事
承認した。同
る建築積算士
格取得のため
、設計事務所
積算部門を担
育成プログラ
る「人材育成
を柱とした人
注力。木構造

円、独立行政法人などが18
・4%増の6323億円、
都道府県が2・3%増の9

全国9ブロックのうち、
増加したのは北海道、関東、
中部、近畿、九州。請負金
額の最多は関東で3・0%
増の2594億円だった。
都道府県別では増加が25道
建だった。

建築を対象にした積算手法
の構築にも取り組む。
総会後に記者会見した吉
田会長は「協会が行って
いることを幅広くアピールす
るため、16年度に作成した
ゼネコン版の人材育成体系
モデルに加え、設計事務所
・コンサル版を新たに作成
した。積算などを扱う部署
に新たに配属された社員が
どうすれば活躍できるのか
を示していく。大手各社に
は既に同様のプログラムが
あるが、建築業界の関係者
に広く活躍してもらおう取
組みとして力を入れていき
たい」と述べた。写真。

同協会は、各企業の積算
部門の人材の教育研修に、
同協会が認定する積算建築
士補・積算建築士・建築コ
スト管理士の取得を組み込
むことで、企業の負担を軽
減しながら、高いレベルの
人材教育を効率的に行いた

うにする。

PCM委員会では、木構
造建築を対象とした積算手
法を構築するため、手引や
考え方をまとめる。BIM
（ビルディング・インフォ
メーション・モデリング）
への対応にも力を入れる。
先進的な取り組みを行って
いる諸外国を参考に、体系
化・高度化を進めるほか、
発注者やゼネコンなどでど
のようにBIMが使用され
ているのかを調査し、活用
を検討していく。

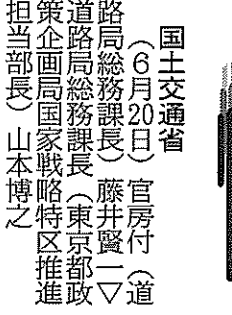
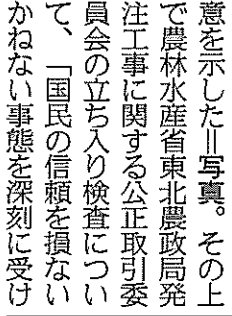
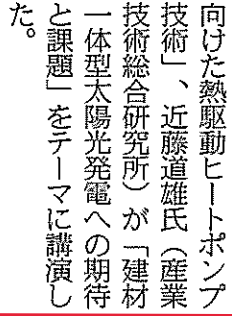
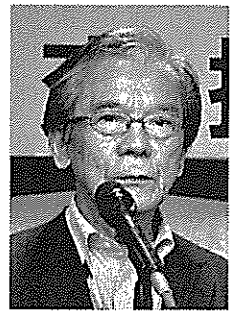
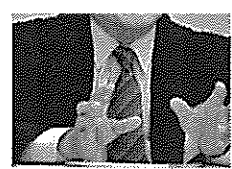
再開発コーディネーター
協会（日端康雄会長）は12
日、東京都千代田区の東海
大学校友会館で通常総会を
開き、17年度事業計画と予
算を承認した。事業計画に
は、再開発事業やマンション
建て替え事業などの制度
や運用面での課題につい
て、国や地方自治体と意見

冒頭、日端会長は「自由
にできるだけいろいろな会
員と接触し、再開発事業と
再開発コーディネーターの役
に立ててほしい」とあいさ
つした。写真。

冒頭、大野会長は「国と
してもBIPV（建材一体
型太陽光発電）のことをし
っかりやっつけていこうとい
う方向になりつつあり、この
研究会は業界の中心的な役
割を担っている。今後、ピ
ジネス化していくためにも
皆さまの協力をお願いした
い」と語った。写真。

総会後の特別講演会で
は、大野会長が「再生可能
エネルギーに関する最新動
向」、秋澤淳東京農工大教
授が「太陽熱の有効利用に
向けた熱駆動ヒートポンプ
技術」、近藤道雄氏（産業
技術総合研究所）が「建材
一体型太陽光発電への期待
と課題」をテーマに講演し
た。

国土交通省
（6月20日）官房付（道
路局総務課長）藤井賢一▽
道路局総務課長（東京都政
策企画局国家戦略特区推進
担当部長）山本博之



人事
機構改革